



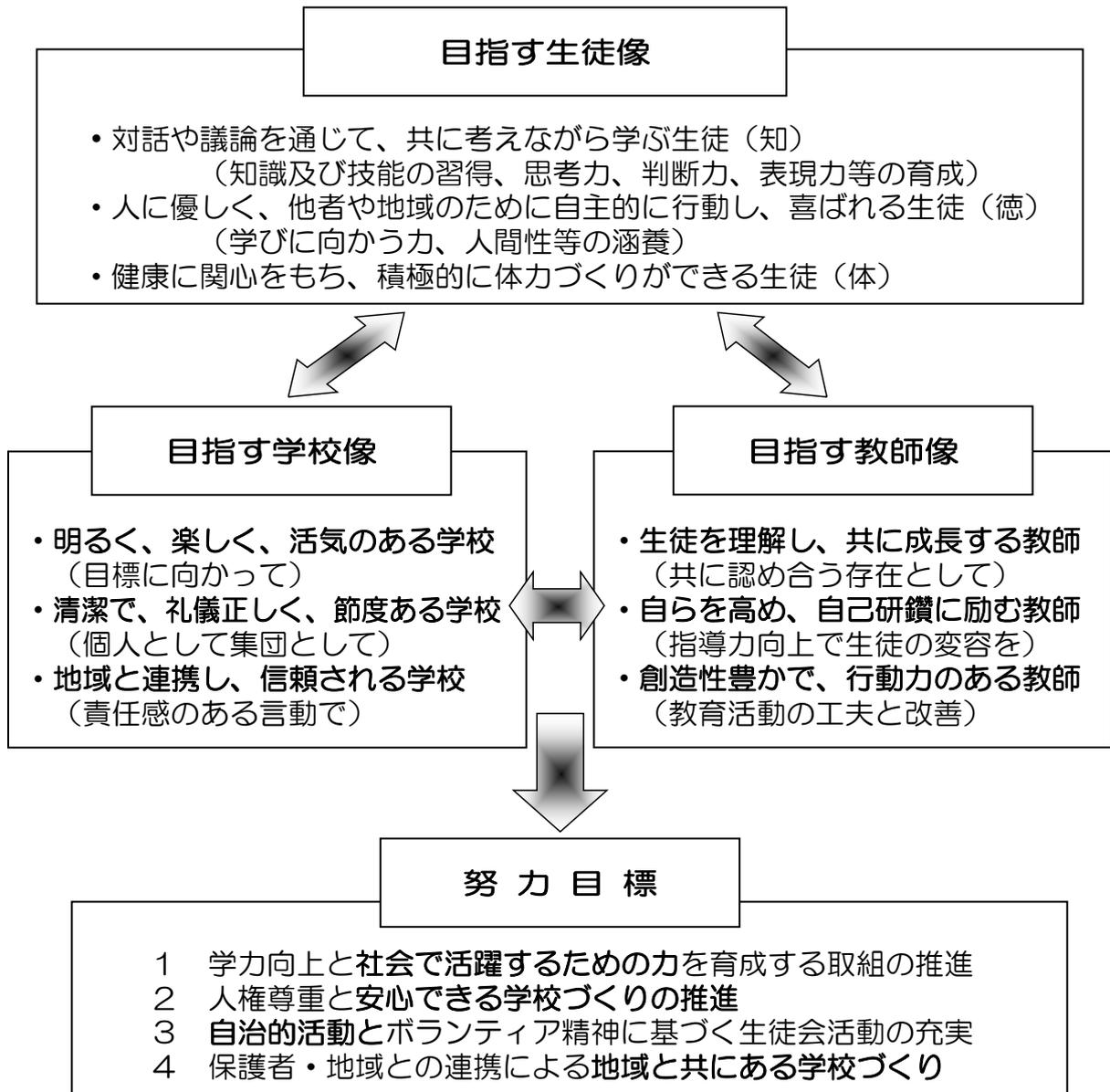
2024(令和6)年度 小野中学校 学校経営方針

校訓「自主 積極」に基づく教育活動の推進

長崎県及び諫早市教育方針に則り、本校の校訓である「自主 積極」のもと、生徒の実態や保護者・地域の願いを踏まえながら、一人一人が夢や希望に向かって努力することのできる学校づくりを目指す。併せて、これからの社会を生き抜くための資質・能力とともに、「課題対応能力」（原因を明らかにし、方法を考え、改善していこうとする力）の育成を目指す教育活動を推進する。

小野中学校教育目標「自他を認め、共に高め合う生徒の育成」

- (1) 生徒の「夢・憧れ・志」の実現を目指し、熱意を持って生徒の支援にあたる。
- (2) 職員間の目標の共有を図り、連携・協力して指導に努める。
- (3) 教師自らが研究と修養に励み、生徒の学力向上に資する指導力の向上に努める。
- (4) 節度ある生活態度と望ましい道徳観を一人一人の生徒に身につけさせる。
- (5) 生徒の健康保持と体力増進を図り、安全対策に関する意識を高めさせる。



【努力目標における重点努力事項】

(1) 学力向上と社会で活躍するための力を育成する取組の推進

*学力向上：基礎学力に加え、思考力、判断力、表現力などの育成

*社会で活躍するための力：コミュニケーション能力、課題対応能力、協調性など

○「めあて」の共有と「まとめ」（振り返り）を確実にを行い、「何をするのか」「何がわかったのか、何ができたのか」を生徒とともに確認する授業を実践する。

○学習規律の徹底と支持的風土の醸成により、安心して学べる（聞ける、話せる、考えられる）学習環境の整備を図る。

○ICTの特性を生かし、学校、家庭、オンラインによる学びを関連付けながら、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、ICTを活用した学びを推進する。

○「課題対応能力」（原因を明らかにし、方法を考え、改善していこうとする力）の育成に努め、身に付けた力が他者や地域社会に生かされることを意識した授業を展開する。

(2) 人権尊重と安心できる学校づくりの推進

*人権尊重：多様性への理解を深める教育の重要性

*安心できる学校：いじめだけでなく、不登校や別室登校などの課題にも対応

○学校の教育活動全体を通じて人権・平和教育を推進するとともに、「いじめ」の問題に背を向けない生徒の育成に努める。

○生徒の家庭的・社会的背景の把握に努め、一人一人の特質を理解した指導に当たる。

○「縦割り清掃」の継続や生活環境の改善による美しい環境づくりと豊かな心の育成に努める。

(3) 自治的活動とボランティア精神に基づく生徒会活動の充実

*自治的活動：委員会活動、学級活動、生徒総会など

*ボランティア精神：空き缶回収の充実、地区生徒会による地域貢献活動の推進

○あいさつ運動や空き缶回収をはじめとするボランティア活動を通じて、地域の環境保全とボランティア意識の向上に努める。

○地区生徒会等による主体的な生徒会活動をとおして、地域に貢献するとともに、校訓「自主積極」の具現化を図る。

(4) 保護者・地域との連携による地域と共にある学校づくり

*保護者・地域との連携：育友会活動、地域行事への参加、情報発信など

○学校だより、学年だより、学級通信等の定期的発行や学校ホームページによる積極的な情報発信を行う。

○生徒、保護者、地域住民からの相談や情報提供等には、情報の共有を図りながら速やかに対応する。

○保護者・地域との連携による地域学習や体験活動を積極的に行うことにより、地域理解を深め、将来の自分や地域の在るべき姿を思い描きながら、地域社会を担っていくこととする意識を育む。